

天敵製剤

農林水産省登録 第23807号

スワマイト

(スワルスキーカブリダニ剤)



基本データ

有効成分：スワルスキーカブリダニ

学名：Amblyseius swirskii

性状：淡褐色細粒

その他成分：ネットイチビコナダニ、ふすま、おがくず等

包装：500ml ポリエチレンボトル

特長

- 本剤は、コナジラミ類およびアザミウマ類の捕食性天敵であるスワルスキーカブリダニをボトルに封入した捕食性ダニ剤です。
- スワルスキーカブリダニの定着と生育に最適な環境を整え、対象害虫の発生前及び発生初期に本剤を使用すると、スワルスキーカブリダニは長期間にわたり生存できます。対象害虫がいないときは、花粉などを餌とし、上記害虫を待ち伏せします。
- 捕食性の天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に関係なく、効果があります。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量(10a)	使用時期	使用回数	使用方法	スワルスキーカブリダニを含む総使用回数
野菜類 (施設栽培、ただし、 トマト、ミニトマト を除く)	コナジラミ類 アザミウマ類	25,000～ 50,000頭	発生直前～ 発生初期	—	放飼	—

放飼方法

* 放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響するものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行ってください。
- 放飼を行う際、本剤ボトル内の入り口付近で天敵が偏在していることがあります。放飼前に10～20分ほどボトルを横に寝かせ、放飼直前に横にして10～20回、縦にして10～20回ゆっくりと回転させ、ボトル内の天敵を均一にしてください。放飼中もこの作業を時々行ってください。

* 放飼を行う際は

- ボトル内の天敵を均一にした後、作物上からこぼれないように、内容物を作物上に落していく感覚で放飼してください。
- 放飼は圃場全体に均一に、また害虫が発生しやすい場所にはあらかじめ多めに放飼を行うと効果的です。

導入のタイミング

- 対象害虫の発生前、および、発生初期（1～2か所の時）から導入を開始してください。
- 対象害虫がいないときは、花粉などを餌として生活し、対象害虫を待ち伏せします。
- 既に対象害虫が多発している場合は、スワルスキーカブリダニに影響の少ない化学農薬を処理してから、残効期間を考慮して導入してください。

使用上の注意事項

- 本剤はコナジラミ類およびアザミウマ類を捕食する天敵スワルスキーカブリダニを含有する製剤です。
- 容器内でのスワルスキーカブリダニの生存日数は短いので、入手後他直ちに使用し、使い切ってください。
- 容器内でスワルスキーカブリダニが偏在している場合があるので、使用の際にはボトルを横にしてゆっくりと回転させた後、コナジラミ類が発生している葉上にボトルから少量に分けて放飼してください。"
- 対象害虫の発生密度が高くなってからの放飼は十分な効果が得られないことがあるので、対象害虫がまだ低密度で散見された時点、あるいは、発生前から放飼をして下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均気温を15～30℃に保ってください。
- スワルスキーカブリダニの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響の無いよう適切に処理してください。

使用時安全上の注意事項

- アレルギー体質の人は取扱いに十分注意して下さい。

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないでください。